

院生企画セミナー I 実施報告書

報告者 博士後期課程 複合現象科学専攻 2 回生

吉田祥子

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラム（継続プログラム）による院生企画セミナー I の実施報告をいたします。

記

日時： 2009年2月9日(月)14時40分-16時10分

会場： 奈良女子大学理学部 C 棟4階 第一セミナー室(C435)

講師： 藤森 祥一 先生（福岡教育大学 教育学部）

題名： 3方向に周期的な自己交叉をもたない極小曲面の構成

参加人数： 12名

福岡教育大学から藤森祥一先生をお招きし、『3方向に周期的な自己交叉をもたない極小曲面の構成』という題目で、ご講演をしていただきました。

講演当日は学部生や博士後期学生、教員の方々が参加してくださり、合わせて12名の参加を得ることができました(写真：左)。今回の講演では3方向に周期的な自己交叉をもたない極小曲面の構成について、お話していただきました。

講演ではまず極小曲面の導入として周期問題を考える上で重要な定義や公式について述べられ、一方向に周期的な極小曲面や二方向に周期的な極小曲面などの様々な極小曲面の例を挙げられました。そして三方向に周期的な極小曲面について、歴史から、その構成法まで詳しく説明していただきました。構成法ではいくつかの例を描画ソフトで図を示しながら進めていただき、とてもわかりやすく説明して下さいました(写真：左)。



このように講演では描画ソフト等により様々な図や三方向に周期的な極小曲面の構成法をわかりやすく見せていただけたので、視覚的に捉えやすく興味深く聞くことができました。また講演終了後はその構成法についての質問や三方向に周期的な極小曲面の分類に関することなどの質問が活発にされていました(写真：右)。講演全体を通して、とても貴重な有意義な時間となりました。最後にこの院生企画セミナー I の講演のために貴重な時間を割いて下さった藤森先生に深くお礼申し上げます。